

平成 31 年 4 月 25 日

## 宇和島市スポーツ交流センター 使用にあたっての事前説明書 ボルダリング・トップロープ

施設使用にあたって下記注意事項の内容を理解し、同意いただけた場合、誓約書に署名をお願いいたします。

### 1. クライミングにおける心構えについて

クライミングは常に危険を伴い、時には死亡を含む重大事故に至ることもあります。クライミングをする者（以下、クライマーという）は常に危険を認識し、自己の責任において危険を回避することを前提にクライミングをしなければなりません。

### 2. ボルダリングの注意

- ①ボルダリングとはクライミングの一分野でロープを使わず飛び降りられる範囲（通常 1～5m）で行われるクライミングです。
- ②当施設は、高さ 5m の壁を設置し、着地するためにマットを設置しておりますが、これは着地する際に衝撃をやわらげるためのものであり、全ての墜落に対応しているわけではありません。
- ③着地の際には、必ず下に人がいないかを確認し、安全な高さ及び態勢で、足から着地してください。
- ④マットと壁等に隙間が開いている場所がありますので十分注意してください。
- ⑤登っている人の下には入ってはいけません。登っている人が落ちた場合、落ちた人・下にいる人の両方がケガをする危険があります。
- ⑥他のクライマーが自分で登ろうとするラインに接近しないことを確保してから登って下さい。
- ⑦マットの上で休憩しないで下さい。
- ⑧マットの上に荷物を置かないで下さい。
- ⑨チョークボールを使用して下さい。バッグにチョークを直接入れてのご使用はご遠慮ください。
- ⑩当施設は広い年齢層の方々と一緒にご利用いただきます。互いに安全確認を怠らないように、また譲り合いの気持ちを持ってご利用をお願いします。
- ⑪長い髪は束ねて下さい。

### 2. トップロープの注意

- ①カラビナをホールド代わりに使わないでください。
- ②登攀中はスタッフの指示に従って下さい。
- ③スタッフ不在の場合には、登攀出来ないことがあります。

### 3. 施設のご利用について

- ①クライミングシューズはクライミングエリアでのみ使用してください。クライミングシューズのままトイレや受付に行かないようにお願いします。

- ②貴重品の管理は各自でお願いします。紛失・盗難の責任は一切負いかねます。
- ③飲食は休憩エリアをご利用ください。クライミングエリアではこぼれない容器入りの飲料のみでお願いします。
- ④混雑時は安全のため入場を制限する場合があります。

#### 4. ご利用の前に

- ①アルコールを飲んでのご利用はできません。
- ②健康に不安がある方や、途中で体調が悪くなった場合は、直ちにクライミングを中断してください。
- ③上半身裸で登ること、裸足で登ることはご遠慮ください。
- ④レンタルシューズは靴下を履いて使用してください。
- ⑤装飾品等、ケガの原因となるものははずしてください。
- ⑥伸びすぎた爪のままで登ると危険です。
- ⑦メガネはクライミング中に落とす危険があります。メガネバンドの使用をお勧めします。
- ⑧運動しやすい服装に着替え、準備運動を必ず行ってください。

#### 5. 様々な危険性

特に多い事故例を下記に記載しております。事故による受傷の程度はその都度異なりますが、下記にあるすべての事象において、重大事故（死亡を含む）に至ることがありますことをご理解ください。

- ・墜落時や降下時における着地の失敗
- ・クライミング中における他者との接触
- ・クライミング中の疲労による事故及び障害
- ・ホールドの回転・破損による事故
- ・壁の破損による事故
- ・墜落時や降下時におけるホールド等への接触
- ・ハーネス等装備の装着不備による事故
- ・ロープ結び等取扱い不備による事故
- ・ビレイヤーの不注意、器具扱いミスなどによる墜落
- ・カラビナ等に衣類が引っかかることに起因する事故
- ・トップロープ時のロープ伸長による墜落
- ・ボルト穴等に指を入れ、そこに外力が加わることによる事故
- ・墜落時や降下時にロープが身体にからまることによる事故

※危険と思われる行為を目にした方は、スタッフまでお知らせください。

#### 6. 中学生以下のご利用について

小学3年生以下	使用者一人に対して、一人の保護者若しくは一人の指導者の監督がある場合に限り使用することができます。
小学4年生以上	使用者一人に対して、一人の保護者または、使用者複数に対して一人の指導者の監督がある場合に限り使用することができます。